

## 事業実績報告書

様式 2  
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-55	講座名	ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑で綿をつくらう！」
記載日	2-22/11/26	団体名・企業名	NPO芸術の広場ももなも

### 〈講座全体の概要〉(300字程度)

名東区の住宅街の中にある「いのこしの畑」で綿花の収穫をし、収穫した綿から糸をつむぎ、つむいだ糸でコースターを織ります。自然の循環からいのちの恵みをもらって、生活に必要なものを自らの手でつくる楽しさを、いっしょに体験しました。講師：NPOももなも「いのこしの畑」スタッフ  
 10月29日(土)「わたの観察とスピンドル作り」\_「いのこしの畑」でわたの観察と収穫。糸つむぎの道具「スピンドル」を身近な材料で作成。  
 11月12日(土)「糸紡ぎと織り機作り」\_スピンドルで実際にわたを紡いで「糸」にする。段ボールで簡単な「織り機」を作成。  
 11月26日(土)「コースター織り」段ボールの織り機で、じぶんで紡いだ糸を使ってコースター織り。



#### ※写真1の説明

初日はみんなで畑の観察と綿の収穫をしました。今年は豊作でした。

#### ※写真2の説明

収穫した綿から糸を紡ぎました。糸を杼に巻きつけて織る前の準備をしています。

### 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

事業が継続していることでスタッフの経験値が上がっています。そのため子どもの参加者(小学生)にも対応できました。スタッフの人数がいることで対応できたこともあるが、やる気が小学生の参加者にはスタッフがついてでも経験させてあげたい。教職員(家庭科)の先生の参加もあり、綿をよる糸の方向とミシンの糸が回る方向は違うなど、講座時の雑談の中から新しい情報を得ることができました。今回は大人の参加が多かったです。とても熱心に集中して作業をしていました。大人と子どもの作業テーブルを分けるなどの工夫をし、大人が集中できる時間を作ったのはとても良かったです。一部の参加者がコロナの後遺症で参加できませんでした。(2回目3回目)しかし、とても参加したいという意欲もあったことから、特別に別日で個別対応をしました。

### 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

綿を手作りで糸にしていく過程を学べて、昔の人は丁寧な仕事をしていたんだなあと思いました。残ってほしいことだと思います。とても楽しかったです。初めて糸を紡いだので新しい発見がたくさんありました。わかりやすく勉強になりました。すごく楽しかった。難しかったけれども手厚くサポートしていただいたり、幼い子どもの面倒も見て下さいました。綿花から糸を作ってコースターを手作りできたことが感動でした。コースターを作るのが楽しかった。手おりでコースターができるのでとても楽しかったです。